「東北学院大学人間科学研究」投稿規程

1. 投稿資格

本誌への投稿は、筆頭著者が人間科学研究所（以下、本研究所とする）所員もしくは本研究所の客員研究員に限る。ただし、上記に該当しない者からの投稿論文でも、「東北学院大学人間科学研究」編集委員会（以下、編集委員会とする）が本研究所に寄与すると判断したもののについては掲載が認められる。

2. 投稿にあたっての禁止事項

「東北学院大学における研究活動上の不正行為の防止、対応等に関する規程」第3条に記されている「研究活動上の不正行為」に該当する原稿の投稿を禁じる。

3. 投稿原稿について

3-1. 原稿の種類

原稿の種類は、原著論文、総説、実践報告、研究ノートとする。

原著論文は、原則として、問題提起、方法、結果、考察から構成され、科学的手法を用いて検証された成果およびその成果から得られた結論を述べた新規性の高い研究を指す。

総説は、特定の研究テーマについて、先行研究で得られている知見を体系的に整理し解説するとともに、その研究テーマに関する問題点・今後の課題を論じた研究を指す。

実践報告は、教育実践や臨床実践に関する事例の報告等、その実践的活動の発展に資する成果について述べた研究を指す。

研究ノートは、原著論文と比較すると研究方法（論理展開含む）の厳格さに劣るものの、学術上有効である新しい成果に関する報告・学術的考察を含む、本誌に掲載することが有益と認められる学術的な文章を指す。

その他、特別寄稿、講演会の報告等、本研究所に寄与すると編集委員会が判断した原稿が掲載されることがある。

3-2. 原稿様式の指定

投稿に際しては、編集委員会が別に指定する原稿のフォーマット（Microsoft Word ファイル）を使用し、「執筆の手引き」に従って作成する。このフォーマットは、特に「原著論文」の原稿様式について定めたものであり、その他の種類の原稿については、原則、このフォーマットに準じる形で作成する。

原稿は、表題、著者名、所属、和文アブストラクト、キーワード、本文、引用文献、図表・写真等を順に記載する。原則、A4判用紙レイアウトに横書きとし、本文は和文または英語で記載する。本文が和文の場合、表題と著者名は和文と英文の両方を記載する。本文が和文

以外の場合、表題と著者名は使用言語で記載し、脚注に和文にて補記する。

本誌は「5-3. 刊行方法」に記載された形式にて刊行されるため、文字数およびページ数の規定は設けない。参考までに、原著論文および総説の本文は 30,000 字以内、実践報告および研究ノートの本文は 18,000 字以内を目安とする。本文が英語の場合は、10,000 語以内を目安とする。アブストラクトは 400 字以内を目安とし、キーワードは 5 語句以内とする。

4. 投稿方法

原稿は、電子ファイルのみを受稿し、紙媒体での投稿、郵送での投稿は受けつけない。原稿は、Microsoft Word ファイルおよび PDF ファイルの両方を用意する。なお、図表・写真等は、Microsoft Excel, Microsoft PowerPoint, TIFF, JPG, PNG, BMP 等のより高解像度のファイルも併せて提出する。

投稿者は、原稿および投稿にあたって必要な情報について、投稿募集の締め切り日までに別途指定する方法にて編集委員会（人間科学研究所事務局）に提出する。

5. 論文掲載までの流れ

5-1. 審査

投稿された論文は、編集委員会の責任で審査し、掲否を決定する。審査の上、投稿者に掲載や再審査の条件として、加筆、修正、原稿種類の変更などを依頼することがある。

5-2. 校正

著者校正は初校までとする。校正段階の加筆、削除、訂正は認められない。

5-3. 刊行方法

本誌はオンラインジャーナルとして人間科学研究所のホームページにて公開され、印刷物としての刊行は行わない。掲載論文は、本学学術情報リポジトリへ登録・公開できるものとする。

別刷を希望する投稿者は、別途個別に印刷会社とやり取りの上、発注することができる。その発注にかかる費用は、投稿者本人の負担となる。

5-4. 著作権について

本誌に掲載された著作物の著作権は、著作者に帰属する。

6. その他

その他必要事項を編集委員会が適宜定める。